

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第29号

平成30年 1月22日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

「自分探し」から「自分づくり」へ 生き方・在り方から「なりたい自分」をイメージする

保護者（読者）の皆さん、本年もよろしくお祈りします。

ジブリ映画「千と千尋の神隠し」が公開された頃、教育界では「自分探し」という言葉が盛んに使われました。思春期は、親や周囲の人の影響を受けて自分がどのように成長してきたかを振り返り、自分がどのような生き方に心惹かれ、どのようになりたいのかを意識できるようになる時期です。これが「自分探し」ということだと私は理解しています。そして、今の自分を「なりたい自分」に近づけようとする努力を「自分づくり」と呼びたいと思います。

さて、1月9日（火）の第1学期の始業式では、こんな話をしました。以下にご紹介いたします。

一昨日の日曜日、須賀川市の成人式に出席してきました。来年は、天皇陛下のご退位が予定されていて、「平成」最後の成人式です。2年生は、「平成」の年号（元号）の卒業証書を授与される最後の中学生、1年生は「平成」でない新しい年号の卒業証書を手にするようになります。歴史の大きな節目を意識する年になることでしょう。

成人式のパンフレットには新成人のコメントが載っています。家族やお世話になった人への感謝の言葉が多いのは例年のことですが、最近は「地域への奉仕」「社会貢献」のコメントが多くなってきたと感じています。そのような視点から「なりたい自分」の姿を想起できる人材が増えてきたことは素晴らしいと思います。

さて、「なりたい自分」には、次の3つがあります。

- 1 何になりたいのか
- 2 それになって、何をしたいのか
- 3 それを実現するために、どのように取り組むのか

の3つの側面です。例えば、

- 1 介護士になりたい
- 2 介護士になって、身体が不自由な人に楽しく充実した一日一日を過ごしてもらいたい
- 3 相手の気持ちを理解できるよう日記を書いて振り返る／辛いとき、苦しいときも相手の気持ちを先に考えて行動する

その手前の足下に目を向ければ、

- 1 ○○高校に入る
- 2 その○○高校で、何をしたいのか
- 3 それを成し遂げるために、どのような高校生活を送るか

ということになるでしょう。この中で一番大切なのは、3番目です。3番目に、その人の生き様、人としてのありようが表れます。美しい生き方もあれば、そうでない生き方もあります。今よりも以前の人は、「生き方の美学」にもっとこだわりを持っていたように思います。

1年生は1年生なりに、2年生は2年生なりに、3年生は3年生なりに3番目の「なりたい自分」まで考えられるようになったら嬉しいです。皆さんの成人式に校長として出席することはできません。しかし、皆さんが成人式のとき、どのような生き方をしているのか、心から楽しみにしています。



言語活動における語彙力の重視



学校教育の基準となる学習指導要領が改訂され、移行措置が始まっています。「アクティブ・ラーニング」が注目されていますが、改訂のポイントはそれだけではありません。

深層学習 自律的閉鎖性 擬似的 生起
抽象的 多次的 抽出 邪道

これらは、いずれも昨年度の県立高校の入試問題（国語）の中に出てきた語句です。このような語句が用いられた思索的な文章を理解することは、多くの生徒にとってかなりハードルの高いことだったと思われます。

では、これらの語句の意味を知っていないと文章の意味が理解できないのかというと、決してそうではありません。漢字や漢熟語の意味からこれらの語句の意味を推測し、さらに文章の流れからどういう意味で使われているかを把握することで、文章全体の解釈は十分可能です。

思考力・判断力・表現力を重視し、言語活動を深みのあるものにするためには、「語彙」を豊かに、かつ確かなものにするのが不可欠です。出題は、この「語彙力の重視」を早速に入試問題に反映させたものと、評価できます。

定期テストの問題作成にあたっては、3年間を見通して、質・量ともに入試レベルにつなげるように教員には指示しました。それを支えるのは、日頃の授業です。小説家の井上ひさしに「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをおもしろく・・・」という言葉があります。あらためて噛みしめているところです。

今の1年生から県立高校の入試制度が変わります 受験者全員に「学力検査」、段階的に学級数削減も

時期	現行制度	新制度
2月	I期選抜 自己推薦	
3月	II期選抜 学力検査等	前期選抜（注）
		特色選抜 一般選抜
	III期選抜	後期選抜

（注）同じ高校の特色選抜を第1志望、一般選抜を第2志望にすることが可能。ただし、現行のI期選抜・II期選抜のように異なる高校を志願することはできない。

中学生作文Cで学校賞も

昨年12月16日（土）に東北電力第43回中学生作文コンクールの表彰式が郡山市のビューホテル アネックスで行われ、本紙第28号ですでお知らせしたように、2年 須田日菜子さんが最優秀賞、併せて文部科学大臣賞の伝達を受けました。

これにより、学校賞も授与され、東北電力様よりご寄付を頂戴しましたので、優勝カップやトロフィー等を展示するガラス棚を購入し、校長室前に設置しました。

また、翌週の22日（金）には、橋本克也市

長様に受賞の報告をし、受賞作品「正々堂々」の朗読も披露しました。市長様からは、将来を囑望する励ましのお言葉を頂戴しました。

中学生作文コンクール表彰式



1月11日、県立中学・高校入学者選抜事務調整会議から県教育委員会に最終報告書が提出されました。その内容のイメージは、左図のとおりです。次の点について確認しておいてください。

- I期選抜はそれを継承して「特色選抜」とし、学力検査を実施する。
- II期選抜は、学力重視の「一般選抜」となる。
- 「特色選抜」「一般選抜」も同日程で実施する。（変更後の2020年度は、3月4日～6日）

また、今年度、須賀川高校が1学級減となったように、2028年度までに県立高校の学級数が3割削減されます。いずれも「学力水準の維持・向上」対策です。

2年生も1年生も、第3学期はこれまでの学習範囲の総仕上げにしっかり取り組む覚悟が必要です。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。